

蜷川実花展 はじまりの光

川口市立美術館では、国内外で高い評価を受け、日本を代表するアーティストとして活躍する蜷川実花による開館記念特別展を開催しています。

本展では、蜷川実花の感性の原点である川口で、創作活動の出発点である「写真」を軸に、家族の記憶を織り交ぜながら自身の創作の核心へと迫ります。

会 期 11月29日(日)まで

開館時間 10:00～18:00
第2・4金曜日は20:00まで
(入館は閉館30分前まで)

休 館 日 月曜日(祝・休日の場合は翌平日)

チケット情報

	オンライン	当日券
一般	1,800円	2,000円
大学生	1,300円	1,500円
高校生	800円	1,000円
中学生以下	無料	

オンラインチケット
販売サイト▶



First Light, 2026
©mika ninagawa / bookshop M Co., Ltd. / Courtesy of Tomio Koyama Gallery



撮影：植村マサ

蜷川実花／にながわみか

写真家・映画監督・現代美術家

写真を中心に、映画、映像、空間表現も多く手掛ける。木村伊兵衛写真賞ほか数々受賞。2010年ニューヨークのRizzoliから写真集を出版。「さくらん」(2007年)、「ヘルタースケルター」(2012年)など5本の長編映画、Netflixオリジナルドラマ「FOLLOWERS」(2020年)を監督。これまでに写真集120冊以上を刊行、個展150回以上、グループ展130回以上と国内外で精力的に作品発表を続ける。

Message

特別展のお話をいただき「絶対にやらせていただきたい!!」と喜んでお受けしました。川口は、父・蜷川幸雄が生まれ育った場所であり、私自身も幼少期を過ごした場所です。どこか下町のような雰囲気が残るまちの中で、駄菓子屋で買い物をしたり、銭湯に通ったり、おかめ市に行ったり……川口で過ごした時間やそこで得た体験は、私の創作の源にもなっています。今回の展覧会では、父の書斎の移設展示や母・蜷川宏子のキルト作品のほか、両親のアルバムに残された写真から展開する新作シリーズなども展示しています。これまであえて避けてきた家族との記憶や自分自身の原点と向き合い、川口だからこそ、ここでしか形にできない展示になりました。アートは難しく思われがちですが、遊びに来るような感覚で、気軽に観に来ていただけたら嬉しいです。

